

群馬県桐生市の養豚場で豚熱が発生！ (国内71例目)

【飼養状況】

約 5,000 頭 (群馬県での発生3例目)

【発生の経緯】

- ・ 8月6日（金）群馬県は、同県桐生市の農場で発熱とチアノーゼを呈する豚群がいる旨の通報を受け、病性鑑定を実施
- ・ 8月7日（土）農研機構動物衛生研究部門による遺伝子解析の結果、豚熱の患畜と判明

★ 適切なCSFワクチン接種(40～60日齢)の実施

★ ウイルスの侵入防止対策(野生動物対策も！)

- ・ 豚の導入計画書の事前提出をお願いします。

自分の農場を守るため 飼養衛生管理基準の遵守を！

- ①消毒及び衛生管理区域への
病原体の持込み・持ち出し防止、車両消毒の徹底！
- ②毎日の健康観察 ⇒ 早期発見と早期届出
- ③飼養管理の記録と保管

異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。